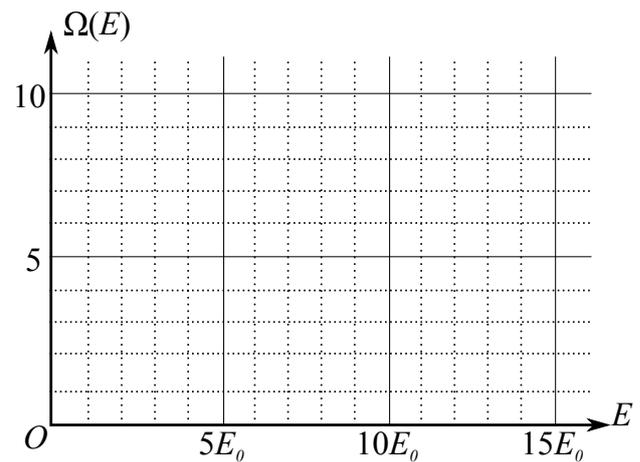


中間試験 1 1 から 35 の目が均等に出るサイコロを 1 つ投げる. 出た目の 2 乗を確率変数 \hat{f} とするとき, 期待値 $\langle \hat{f} \rangle$ を求めなさい. 必要であれば, $\sum_{i=1}^n i^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)$ を用いなさい.

中間試験 2 エネルギー固有値が $E_{(n_x, n_y)} = E_0 (n_x^2 + n_y^2)$ (ただし, n_x と n_y はともに自然数, E_0 は正の定数) で表されるとき, 状態数 $\Omega(E)$ を $0 \leq E \leq 15E_0$ についてグラフに表しなさい.



中間試験 3 ある孤立系の状態数が $\Omega(E) = 10^{(E/E_0)^3}$ で表されるとする. 系のエネルギーが $3E_0$ であるとき, エネルギー固有状態 i が実現する確率 p_i を近似的に求めなさい. ここでは, エネルギー固有値 E_i が $2E_0 < E_i < 3E_0$ を満たすエネルギー固有状態 i は共通のマクロな性質を持つと考えなさい.

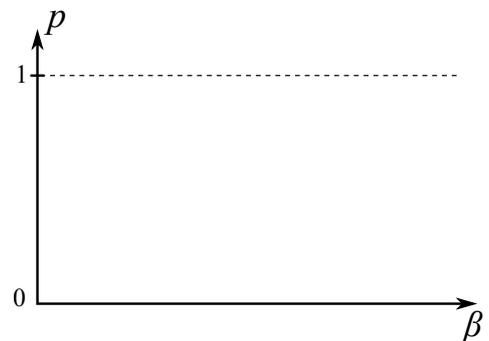
中間試験 4 単原子分子理想気体 (原子の質量 M , 体積 V , 粒子数 N , 逆温度 β) について, 低密度では分配関数が $Z = \frac{V^N}{N!} \left(\frac{2\pi M}{\beta h^2} \right)^{3N/2}$ (ただし, h はプランク定数) で表される. このとき, 理想気体の状態方程式を導出しなさい. なお, 圧力が $p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log Z$ と表されることは既知とし, ボルツマン定数を k_B としなさい.

中間試験 5 ヘルムホルツの自由エネルギー F について, 次の問いに答えなさい. 以下では, β が逆温度, V が体積, Z が分配関数, U が内部エネルギー, T が絶対温度を表すものとしなさい.

- (1) 熱力学では, 圧力 p は $p = -\frac{\partial F}{\partial V}$ と表される. 圧力の表式 $p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log Z$ を踏まえ, F を β と Z を用いて表しなさい.
- (2) 熱力学では, エントロピー S は $S = -\frac{\partial F}{\partial T}$ と表される. $S = \frac{U - F}{T}$ を満たすことを示しなさい. ただし, 内部エネルギーが $U = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z$ と表されることは既知としなさい.

中間試験 6 温度が一定 (逆温度 β) で磁場 $\vec{H} = (0, 0, H)$ (ただし, $H > 0$) のある空間に, 電子が一つ固定されている. 電子はスピンと呼ばれる固有の角運動量を有しており, z 方向を向く状態 (「状態 +」と呼ぶ) と, $-z$ 方向を向く状態 (「状態 -」と呼ぶ) の二つがエネルギー固有状態である. また, エネルギー固有値は, 磁気モーメント μ_0 (ただし, $\mu_0 > 0$) を用いて, 状態 + では $E_+ = -\mu_0 H$, 状態 - では $E_- = \mu_0 H$ と表される.

- (1) 分配関数 Z を求めなさい.
- (2) 状態 + に対応する確率を p_+ , 状態 - に対応する確率を p_- と表す. p_+ と p_- を求めなさい.
- (3) $\beta \rightarrow 0$ と $\beta \rightarrow \infty$ について, p_+ と p_- の値を求めなさい.
- (4) β に対して, p_+ は単調増加, p_- は単調減少することを示しなさい.
- (5) p_+ と p_- を, 横軸を β とするグラフで表しなさい. ただし, $\beta > 0$ について $\frac{\partial^2 p_+}{\partial \beta^2} < 0$, $\frac{\partial^2 p_-}{\partial \beta^2} > 0$ であることは既知としなさい.
- (6) 系の内部エネルギー U を求めなさい.



中間試験 7 カノニカル分布に関して、次の問いに答えなさい。以下では、 Z が分配関数、 k_B がボルツマン定数、 β が逆温度、 T が絶対温度を表すものとしなさい。

- (1) エネルギー固有値の期待値 $\langle \hat{H} \rangle$ を計算することにより、内部エネルギーの表式 $U = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z$ を導出
しなさい。
- (2) 内部エネルギーのゆらぎの表式 $\sigma = \sqrt{\frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \log Z}$ を導出しなさい。
- (3) 比熱は $C = \frac{\partial U}{\partial T}$ により定義される。 C を k_B , T , σ を用いて表しなさい。

解答例

統計力学 (2018 年度 : 鳴海)

番号:

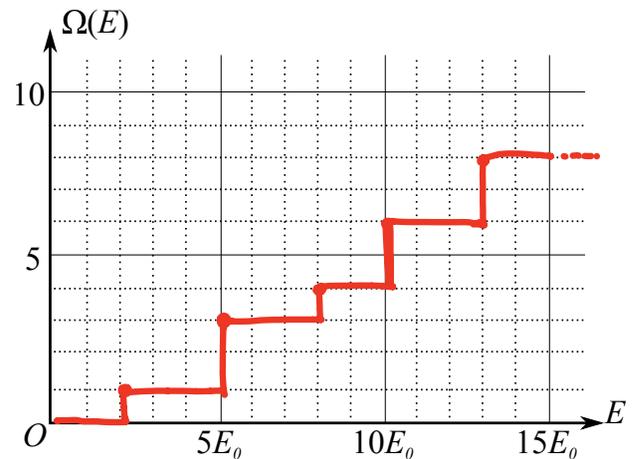
名前:

中間試験 1 1 から 35 の目が均等に出るサイコロを 1 つ投げる. 出た目の 2 乗を確率変数 f とするとき, 期待値 $\langle f \rangle$ を求めなさい. 必要であれば, $\sum_{i=1}^n i^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)$ を用いなさい.

$$\langle f \rangle = \sum_{i=1}^{35} i^2 P_i = \frac{1}{35} \cdot \frac{1}{6} \cdot 35 \cdot 36 \cdot 71 = 6 \cdot 71 = 426 //$$

中間試験 2 エネルギー固有値が $E_{(n_x, n_y)} = E_0 (n_x^2 + n_y^2)$ (ただし, n_x と n_y はともに自然数, E_0 は正の定数) で表されるとき, 状態数 $\Omega(E)$ を $0 \leq E \leq 15E_0$ についてグラフに表しなさい.

n_x	n_y	E
1	1	$2E_0$
1	2	$5E_0$
2	1	$5E_0$
2	2	$8E_0$
1	3	$10E_0$
3	1	$10E_0$
2	3	$13E_0$
3	2	$13E_0$
3	3	$18E_0$
\vdots	\vdots	\vdots



中間試験 3 ある孤立系の状態数が $\Omega(E) = 10^{(E/E_0)^3}$ で表されるとする. 系のエネルギーが $3E_0$ であるとき, エネルギー固有状態 i が実現する確率 p_i を近似的に求めなさい. ここでは, エネルギー固有値 E_i が $2E_0 < E_i < 3E_0$ を満たすエネルギー固有状態 i は共通のマクロな性質を持つと考えなさい.

$$\Omega(3E_0) = 10^{27}, \quad \Omega(2E_0) = 10^8$$

よて $2E_0 < E_i < 3E_0$ となる状態の数は

$$\Omega(3E_0) - \Omega(2E_0) = 10^{27} - 10^8 \doteq 10^{27}.$$

よて等重率の原理より

$$P_i = \begin{cases} \frac{1}{10^{27}} & (2E_0 < E_i < 3E_0) \\ 0 & (\text{それ以外}) \end{cases} //$$

中間試験 4 単原子分子理想気体 (原子の質量 M , 体積 V , 粒子数 N , 逆温度 β) について, 低密度では分配関数が $Z = \frac{V^N}{N!} \left(\frac{2\pi M}{\beta h^2} \right)^{3N/2}$ (ただし, h はプランク定数) で表される. このとき, 理想気体の状態方程式を導出しなさい. なお, 圧力が $p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log Z$ と表されることは既知とし, ボルツマン定数を k_B としなさい.

$$p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log \left[\frac{V^N}{N!} \left(\frac{2\pi M}{\beta h^2} \right)^{3N/2} \right] = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log V^N = \frac{N}{\beta V}$$

ここで $\beta = \frac{1}{k_B T}$ より $p = \frac{k_B T N}{V} \Leftrightarrow pV = Nk_B T$ \blacksquare

中間試験 5 ヘルムホルツの自由エネルギー F について, 次の問いに答えなさい. 以下では, β が逆温度, V が体積, Z が分配関数, U が内部エネルギー, T が絶対温度を表すものとしなさい.

- (1) 熱力学では, 圧力 p は $p = -\frac{\partial F}{\partial V}$ と表される. 圧力の表式 $p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log Z$ を踏まえ, F を β と Z を用いて表しなさい.
- (2) 熱力学では, エントロピー S は $S = -\frac{\partial F}{\partial T}$ と表される. $S = \frac{U - F}{T}$ を満たすことを示しなさい. ただし, 内部エネルギーが $U = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z$ と表されることは既知としなさい.

$$(1) \quad p = \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial V} \log Z = -\frac{\partial}{\partial V} \left(-\frac{1}{\beta} \log Z \right) \text{ より } F = -\frac{1}{\beta} \log Z \text{ ,,}$$

$$(2) \quad S = -\frac{\partial F}{\partial T} = \frac{\partial}{\partial T} \left(\frac{1}{\beta} \log Z \right) = \left\{ \frac{\partial}{\partial T} \left(\frac{1}{\beta} \right) \right\} \log Z + \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial T} \log Z$$

$$= k_B \log Z + \frac{1}{\beta} \frac{\partial}{\partial T} \log Z \quad \dots \textcircled{*}$$

∴

$$\frac{\partial}{\partial T} = \frac{\partial \beta}{\partial T} \cdot \frac{\partial}{\partial \beta} = \left\{ \frac{\partial}{\partial T} \left(\frac{1}{k_B T} \right) \right\} \cdot \frac{\partial}{\partial \beta} = -\frac{1}{k_B T^2} \frac{\partial}{\partial \beta} = -\frac{\beta}{T} \frac{\partial}{\partial \beta} \text{ より,}$$

$$\textcircled{*} = \frac{\frac{1}{\beta} \log Z}{T} - \frac{\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z}{T} = \frac{-F}{T} - \frac{-U}{T} = \frac{U - F}{T} \quad \blacksquare$$

中間試験 6 温度が一定 (逆温度 β) で磁場 $\vec{H} = (0, 0, H)$ (ただし, $H > 0$) のある空間に, 電子が一つ固定されている. 電子はスピンと呼ばれる固有の角運動量を有しており, z 方向を向く状態 (「状態 +」と呼ぶ) と, $-z$ 方向を向く状態 (「状態 -」と呼ぶ) の二つがエネルギー固有状態である. また, エネルギー固有値は, 磁気モーメント μ_0 (ただし, $\mu_0 > 0$) を用いて, 状態 + では $E_+ = -\mu_0 H$, 状態 - では $E_- = \mu_0 H$ と表される.

- (1) 分配関数 Z を求めなさい.
- (2) 状態 + に対応する確率を p_+ , 状態 - に対応する確率を p_- と表す. p_+ と p_- を求めなさい.
- (3) $\beta \rightarrow 0$ と $\beta \rightarrow \infty$ について, p_+ と p_- の値を求めなさい.
- (4) β に対して, p_+ は単調増加, p_- は単調減少することを示しなさい.
- (5) p_+ と p_- を, 横軸を β とするグラフで表しなさい. ただし, $\beta > 0$ について $\frac{\partial^2 p_+}{\partial \beta^2} < 0$, $\frac{\partial^2 p_-}{\partial \beta^2} > 0$ であることは既知としなさい.
- (6) 系の内部エネルギー U を求めなさい.

$$(1) Z = \sum_i e^{-\beta E_i} = e^{-\beta E_+} + e^{-\beta E_-} = e^{\beta \mu_0 H} + e^{-\beta \mu_0 H} \quad "$$

$$(2) p_+ = \frac{e^{-\beta E_+}}{Z} = \frac{e^{\beta \mu_0 H}}{e^{\beta \mu_0 H} + e^{-\beta \mu_0 H}}, \quad p_- = \frac{e^{-\beta E_-}}{Z} = \frac{e^{-\beta \mu_0 H}}{e^{\beta \mu_0 H} + e^{-\beta \mu_0 H}} \quad "$$

$$(3) \beta \rightarrow 0 \text{ のときは } p_+ = p_- = \frac{1}{2}.$$

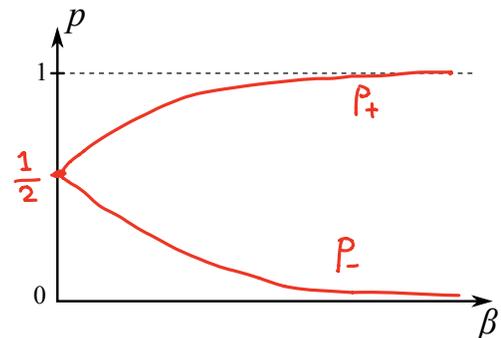
$$\beta \rightarrow \infty \text{ のときは } p_+ = \frac{1}{1 + e^{-2\beta \mu_0 H}} \rightarrow 1, \quad p_- = \frac{e^{-2\beta \mu_0 H}}{1 + e^{-2\beta \mu_0 H}} \rightarrow 0.$$

$$(4) \frac{\partial p_+}{\partial \beta} = \frac{2\mu_0 H e^{-2\beta \mu_0 H}}{(1 + e^{-2\beta \mu_0 H})^2} > 0. \text{ よって } p_+ \text{ は単調増加.}$$

$$\frac{\partial p_-}{\partial \beta} = \frac{-2\mu_0 H e^{-2\beta \mu_0 H}}{(e^{2\beta \mu_0 H} + 1)^2} < 0. \text{ よって } p_- \text{ は単調減少.}$$

$$(5) (3) \text{ と } (4) \text{ の結果と } \frac{\partial^2 p_+}{\partial \beta^2} < 0,$$

$$\frac{\partial^2 p_-}{\partial \beta^2} > 0 \text{ を踏まえると右のようになる,$$



$$(6) U = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z$$

$$= -\frac{\partial}{\partial \beta} \log(e^{\beta \mu_0 H} + e^{-\beta \mu_0 H})$$

$$= -\frac{e^{\beta \mu_0 H} - e^{-\beta \mu_0 H}}{e^{\beta \mu_0 H} + e^{-\beta \mu_0 H}} \mu_0 H \quad "$$

※期待値の定義から
計算することもできる.

中間試験 7 カノニカル分布に関して、次の問いに答えなさい。以下では、 Z が分配関数、 k_B がボルツマン定数、 β が逆温度、 T が絶対温度を表すものとしなさい。

- (1) エネルギー固有値の期待値 $\langle \hat{H} \rangle$ を計算することにより、内部エネルギーの表式 $U = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z$ を導出しなさい。
- (2) 内部エネルギーのゆらぎの表式 $\sigma = \sqrt{\frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \log Z}$ を導出しなさい。
- (3) 比熱は $C = \frac{\partial U}{\partial T}$ により定義される。 C を k_B 、 T 、 σ を用いて表しなさい。

$$(1) U = \langle \hat{H} \rangle = \sum_i E_i p_i = \sum_i E_i \frac{e^{-\beta E_i}}{Z} \dots \textcircled{*}$$

$$\text{ここで } \frac{\partial}{\partial \beta} e^{-\beta E_i} = -E_i e^{-\beta E_i} \text{ なのて、}$$

$$\textcircled{*} = -\frac{1}{Z} \frac{\partial}{\partial \beta} \sum_i e^{-\beta E_i} = -\frac{1}{Z} \frac{\partial Z}{\partial \beta} = -\frac{\partial}{\partial \beta} \log Z \quad \blacksquare$$

$$(2) \langle \hat{H}^2 \rangle = \sum_i E_i^2 p_i = \sum_i E_i^2 \frac{e^{-\beta E_i}}{Z} = \frac{1}{Z} \sum_i E_i^2 e^{-\beta E_i} \dots \textcircled{**}$$

$$\text{ここで } \frac{\partial^2}{\partial \beta^2} e^{-\beta E_i} = E_i^2 e^{-\beta E_i} \text{ なのて}$$

$$\textcircled{**} = \frac{1}{Z} \frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \sum_i e^{-\beta E_i} = \frac{1}{Z} \frac{\partial^2}{\partial \beta^2} Z$$

$$\text{よて } \sigma^2 = \langle \hat{H}^2 \rangle - \langle \hat{H} \rangle^2 = \frac{1}{Z} \frac{\partial^2 Z}{\partial \beta^2} - \left(\frac{1}{Z} \frac{\partial Z}{\partial \beta} \right)^2 \dots \textcircled{*}$$

$$\text{また、} \frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \log Z = \frac{\partial}{\partial \beta} \left(\frac{1}{Z} \frac{\partial Z}{\partial \beta} \right) = \frac{\partial Z'}{\partial \beta} \cdot \frac{\partial Z}{\partial \beta} + \frac{1}{Z} \frac{\partial^2 Z}{\partial \beta^2}$$

$$= -\frac{1}{Z^2} \frac{\partial Z}{\partial \beta} \cdot \frac{\partial Z}{\partial \beta} + \frac{1}{Z} \frac{\partial^2 Z}{\partial \beta^2} \text{ なのて } \textcircled{*} = \frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \log Z$$

$$\sigma > 0 \text{ ため } \sigma = \sqrt{\frac{\partial^2}{\partial \beta^2} \log Z} \quad \blacksquare$$

$$(3) C = \frac{dU}{dT} = -\frac{\beta}{T} \frac{dU}{d\beta} = +\frac{1}{k_B T^2} \frac{d^2}{d\beta^2} \log Z$$

$$\textcircled{=} C = \frac{\sigma^2}{k_B T^2} \quad \text{,,}$$